

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.02.03-02.14

*記事は東京発行・最終版

「日印鉄鋼官民協力会合」(右から)インド鉄鋼省局長U.P.シン氏、経産省製造産業局・竹上嗣郎氏(製鉄企画室長)、手塚宏之座長ら(2月4日付)



2月3日(月)

椿本チエイン、天津に第2工場
自動車用

椿本チエインは、天津市に自動車用タイミングチェーンシステムの新工場を建設する。約30億円投資。2016年1月稼働。自動車部品関連の中国生産拠点は椿本汽車発動機に次ぐ2カ所目。(1面)

米モレックス、上海に技術者
小型精密コネクター/営業に同行

米モレックスは、小型精密コネクター事業で、上海の営業拠点に技術者を配置する。営業に同行し、ニーズを的確に把握できる体制を整える。スマートフォンの需要が伸びている。(11面)

遠州トラック、物流加工撤退
輸送・倉庫業務は継続

遠州トラックは、中国のグループ会社・青島遠州が物流加工事業から4月に撤退、また大連遠州を9月に清算する。青島遠州には50人前後の従業員が残り今後も輸送・倉庫業務を続ける。(14面)

2月4日(火)

NTN、CVJ新工場
台湾・裕隆と合弁

NTNは、中国で3番目の自動車用等速ジョイント(CVJ)の工場を湖北省に新設する。台湾の裕隆グループと合弁会社を設立。2015年4月から量産。中国でCVJ需要が急増。(5面)

ショウワ、現地生産
中国向け洗浄機/日本から金型

ショウワは、中国向けの業務用洗浄機の全量を現地生産に切り替える。ポンプなどの基幹部品や金型は日本から供給し、組み立てを現地メーカーに委託。価格を2~3割下げる拡販する。(8面)

2月5日(水)
ダイヘン、中国で多関節ロボット
生産能力1.5倍

ダイヘンは、アーケ接続など産業用小型多関節ロボットの生産力を強化する。中国で小型多関節ロボットの生産を始める。六甲事業所は生産にロボットを使ったラインに。生産能力1.5倍。(1面)

2月6日(木)
ファナック、上海に新工場
ロボシステム構築/能力1.5倍超

ファナックは、上海市にロボットシス



中国では産ロボの需要が増加
傾向にある(ファナック)

テムの新工場を建設し、年内稼働。納入前のロボットシステム構築やメンテナンスを手がける。既存工場と合わせたシステム構築能力は1.5倍以上に。(1面)

2月10日(月)
広東のシート工場、移転・拡張
TSテック/ホンダ隣接

TSテックは、2015年秋をめどに自動車用シートを製造する広東省增城市の「広州提愛思汽車内飾系統」を移転し、拡張する。新工場もホンダの完成車工場に近い增城市内に。(5面)

コタニ、自動車用ギア中国生産
月産30万個/岡谷鋼機と共同

コタニは、岡谷鋼機と共に江蘇省に熱間鍛造・熱間ローリングの新会社を設立し、自動車用熱間ローリングギア(ファイアルギア)の現地生産に乗り出す。月産30万個を計画。(5面)

油圧機器、中国で攻勢
K Y B:現地生産/不二越:生産5倍

油圧機器メーカーが、中国でミニ・小型建設機械用油圧モーターの生産を拡大。K Y Bは鎮江工場で現地生産。不二

油圧機器メーカーの
中国での動き

K Y B	相模工場から生産を順次移管。6月に小型油圧ショベル用モーター、12月に旋回モーターの生産を開始する
不二越	ミニ油圧ショベル用旋回・走行モーターの生産を開始。今年度に8トン級向けモーターも生産する

越は張家港工場の能力を現行の4~5倍に。水利開発や都市開発向け。(7面)

日揮、都市開発を推進
中国・インド進行中/プラント技術活用

日揮が、アジアで都市開発事業を推進している。中国とインドの案件が進行中だ。一見すると畠違いにも思えるが、プラント建設で培ったノウハウが生きていく。(7面)

武漢のSEを増員

新日鉄住金ソリューションズ強化

新日鉄住金ソリューションズは、武漢市にある拠点のSEを増員する。現在の10人から50~60人体制にする。オフショア開発を強化する。現地採用を積極化、上海からも派遣。(9面)

2月11日(火)
電通、SNS広告大手を買収
上海ベラウォム

電通は、海外子会社を通じ中国・上海のSNS向け広告大手「ベラウォム」の株式を100%取得し、子会社化する。買収金額は非公表。社名変更するが、経営

陣は現状のまま維持。(3面)

クアルコム特許料・高すぎる

中国・携帯電話業界団体が陳情書
中国の大手携帯電話メーカーなど30社以上の業界団体は、経済官庁の国家発展改革委員会に、米半導体大手クアルコムに支払っている特許使用料が高過ぎるとする陳情書を提出。(時事=7面)

2月12日(水)

昭和電工、アンモニア生産2倍
液晶・LED製造用/年2000t

昭和電工は、中国で液晶パネルや発光ダイオード(LED)の製造工程に使う高純度アンモニアの年産能力を2000tに倍増。増強で同社の年産能力は日本・台湾を合わせ合計6000tになる。(11面)

次回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は3月3日(月)に掲載します。

以下の「リージョナル」と150席程度の
「単通路機」の2機種を開発中。MRJ
など「ライバル」の関心は高い。(6面)

TELOP

ATM保守システム、中国で稼働
OKI(4日10面)

香港・物流会社株を取得
近鉄エクスプレス(4日14面)

EV購入補助を継続
中国財政省(時事=11日5面)

ロート製薬、中国子会社を清算
高級化粧品・美容サロン(11日9面)

新常務役員、中国合弁に派遣
スズキ、テコ入れ(14日3面)

東光TOB、中国で手続き完了
村田製作所(14日3面)

ひと

「友好賞」に感無量
「今回の受賞を誇りに思ふ」と笑顔で語るのは、油圧プレスメーカーのタナカカズ常務の田中秀明さん。2013年末に中国遼寧省から「友好賞」を授与された。「教育指導から始まり、部品の試作を何度も繰り返してきた。その中で信頼関係もできた」と感無量。(5日=7面)

運次第

「中国で信頼できるパートナーに会えるかは運次第」と、ショウワ社長の藤村俊秀さん。現地で業務用洗浄機の委託生産を始める。「駐在員の頑張りがなかつたら、もっと時間がかかっていた。私は提携先にも社員にも恵まれて運がいい」とほほ笑む。(11日=6面)

「中国プラス1」需要対応
鴻池運輸/アパレル貿易

鴻池運輸が、東南アジアでチャイナプラスワンの需要に合わせた物流の取り込みを本格化。衣料品検品の梱原と業務提携。ネットワークを融合、国境を越えた一貫物流サービスを提供。(15面)

2月13日(木)

中国新車販売、4社が最高
1月/日本企業

中国での乗用車メーカー7社の2014年1月の新車販売台数はトヨタ自動車とホンダ、マツダ、富士重工業の4社が1月として過去最高。三菱自動車を含め5社が前年同月を上回った。(5面)

ヤマハ発、船外機タイに移管
2輪車工場内/生産コスト3割低減

ヤマハ発動機は、フランスでの船外機生産をタイに移管する。タイの2輪車工場内に船外機生産ラインを構築。約10億円投資。7月に一部機種をタイ工場で生産。生産コストを約3割低減。(3面)

2月14日(金)

中国製航空機・世界席巻するか
MRJなど「ライバル」の関心高く

中国の民間機開発プロジェクトが本格化。中国政府系の航空機メーカーは90席を始める。「駐在員の頑張りがなかつたら、もっと時間がかかっていた。私は提携先にも社員にも恵まれて運がいい」とほほ笑む。(11日=6面)

TELOP

ダイハツ製小型車フィリピン販売
トヨタが正式発表(4日5面)

バニラエアが増便
成田・ソウル・那覇(4日15面)

新興国用小型車インドで生産開始
日産(5日5面)

インドネシアで自動車ローン
ジャックス(5日19面)

I I J、シンガポールでクラウド
香港にも延伸(6日9面)

ラオス計画投資省と提携
三菱東京UFJ銀行(7日17面)

マレーシア子会社を増資
みずほ銀行(7日17面)

住友商事、アジアで農薬販売
フィリピン・インド(13日13面)

タイ公社と関係強化
住宅支援機構(13日15面)

バンコクにサポートデスク
埼玉県(13日24面)

オバマ大統領、4月アジア歴訪
22日に来日(時事=14日2面)

ひと

「恋人、探し

「2色成形の樹脂用金型を作れる会社がベトナム・ホーチミンに進出しあほしい」と願うのは、三扇化学社長の児玉康彦さん。国内でも2色成形を行う会社は少ない。「恋人、探しは苦労しそうだが「差別化にはこの技術は外せない」と意中の企業を探す。

タイ、簡単な状況ではない
タイでの今後のトラック販売動向について日野自動車専務の梶川宏さんは、「しばらくは先行きが読み切れない」と厳しく見通しを示す。反政府デモなどによる政局混乱が販売にも影響を与えているという。「簡単な状況ではない」が、次の一手に知恵を絞る。(5日=5面)

積極投資の刈り取り
「今後の成長ドライブとして新興国での事業強化などに加え、化学品事業を伸ばすことも重要」と、旭硝子社長の石村和彦さん。インドネシアでカセイソーダ能力増強、ベトナムは塩ビ事業会社の買収など「積極投資の刈り取りが成長の柱の一つになる」。(13日=11面)

鉄鋼の省エネ、日印が意見交換
官民で会合/技術移転を進化

日本の鉄鋼業が有する環境・省エネ技術をインドの鉄鋼業に移転するため、政策や取り組みなどを意見交換する「日印鉄鋼官民協力会合」が都内で始まった。(13面)

シンガポール物流会社を買収
SBS/コンテナ陸送参入

SBSホールディングスは、シンガポールの物流会社であるジン・グアン・フレートを買収した。コンテナの陸送事業に参入する。ASEANのほかの拠点への展開も視野に。(14面)

2月5日(水)
印タタ、4年ぶりに新型車
小型車2車種/巻き返し

印タタ・モーターズは、4年ぶりに新型の小型車2車種を発表した。日本勢をはじめとする海外メーカーが攻勢をかけるインド国内の乗用車市場で巻き返しを図る。(時事=5面)

2月6日(木)
鉄鋼・海外戦略に影
新興国通貨安リスク

通貨安に伴う新興国経済の悪化懸念や中国の景気減速が、国内鉄鋼メーカーのリスク要因として浮上。重要市場でのリスクが高まれば、鉄鋼各社の海外戦略に影響しかねない。(深層断面=28面)

山九、ベトナムに物流施設
南部最大/保税・流通加工

山九は、ベトナム南部で最大となる物流施設「サイゴン物流センター」を建設する。2015年1月完成。ドンナイ省の工業団地に立地。保税仓库と一般仓库を備える。流通加工にも対応。(5面)

2月7日(金)
「787」用の機体部品受注

今井航空機器/マレーシアで一貫生産
今井航空機器工業は、ミスピリット・エアロシステムズから米ボーイングの中型機「787」用の機体部品約60点を受注した。マレーシア子会社で機械加工から表面処理まで一貫生産する。(1面)

日系自動車、インド販売を拡充
ホンダ:MPV/日産:ダットサン拡充

日系自動車メーカーが相次ぎインドで販売を強化する。ホンダは多目的車を投入。日産自動車も「ダットサン」で小型車とMPVを発売。いすゞはSUV現地生産を控え販売網を拡充。(1面)

山善、タイに現法
生産財/建材・住宅設備

山善は、タイで建築資材や住宅設備の営業を行う現地法人を4月1日付で設立する。駐在員事務所を設置している。タイ向け営業は生産財で先行するが、住建事業でも本格参入する。(7面)

インドに2輪車の第4工場
ホンダ/年産能力120万台

ホン